

6. 手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

算式

$$\frac{\text{【分子】 分母対象例のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された数}}{\text{【分母】 入院して手術室で手術を受けた退院患者数}}$$

※分母除外項目

1. 同一入院期間中に複数回の手術が行われている患者
2. 手術申込が手術開始24時間以内に行われた患者（緊急手術）
3. 外来患者
4. 術前に感染が明記されている患者
5. 予防的抗菌薬が投与されていない患者
6. 手術前日から術後2日目までに抗菌薬が投与されていない患者

定義

手術退院患者数のうち手術執刀開始前1時間以内に予防的に抗菌薬を投与された退院患者数の割合

指標の解説

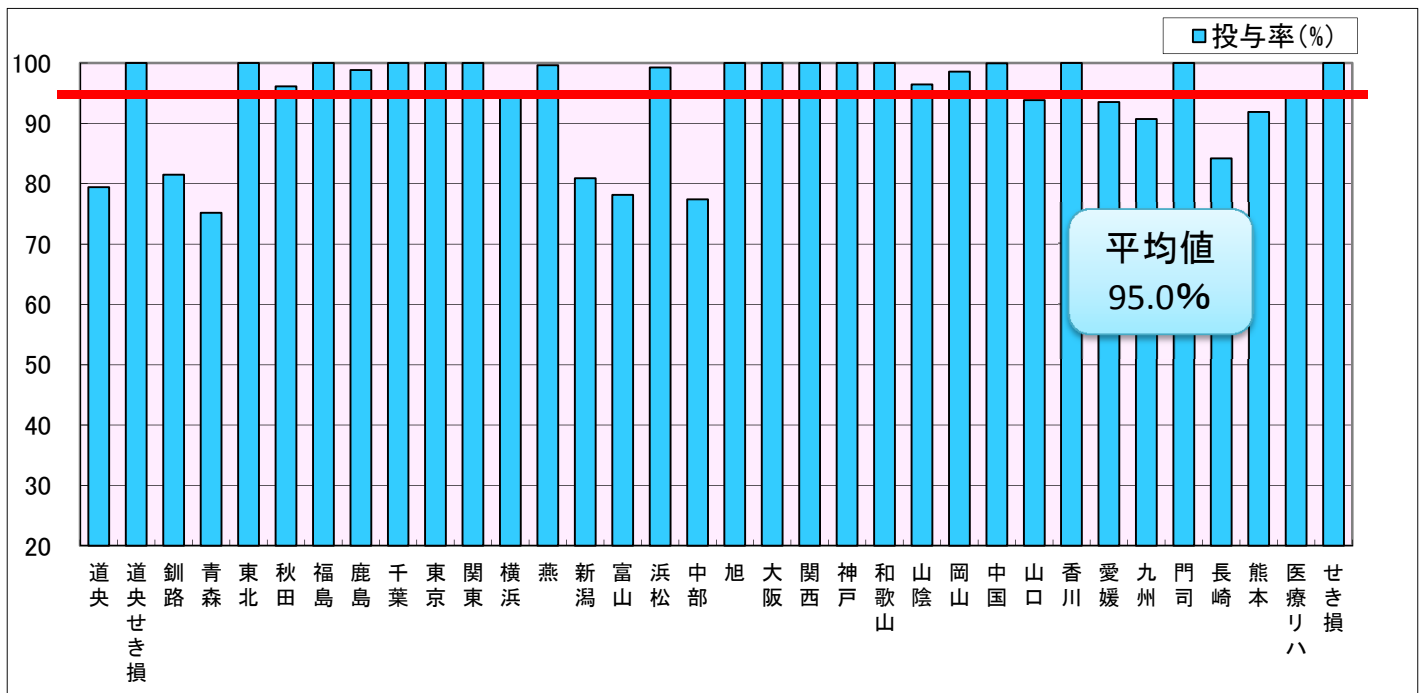
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、手術患者に対する抗菌薬の投与について手術執刀開始前1時間以内の予防的抗菌薬の投与状況から評価する。

手術執刀開始前1時間以内に、適切な抗菌薬を投与することで、手術後の手術部位の感染発生を予防し、入院期間の延伸や医療費の増大を抑えることができると考えられている。

投与率が高い場合には、適切な投与による感染の発生防止に積極的に取り組むとともに、入院期間、医療費の観点から効率的な医療を提供していると評価できる。

6. 手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率



施設名	分母	分子	投与率(%)
道央	981	779	79.4
道央せき損	862	862	100.0
釧路	3,165	2,579	81.5
青森	1,007	757	75.2
東北	3,156	3,156	100.0
秋田	847	814	96.1
福島	1,699	1,699	100.0
鹿島	523	517	98.9
千葉	4,702	4,702	100.0
東京	1,432	1,432	100.0
関東	4,673	4,673	100.0
横浜	3,842	3,661	95.3
燕	513	511	99.6
新潟	1,627	1,316	80.9
富山	1,157	904	78.1
浜松	910	903	99.2
中部	2,767	2,142	77.4
旭	745	745	100.0
大阪	8,240	8,240	100.0
関西	4,492	4,492	100.0
神戸	1,460	1,460	100.0
和歌山	3,001	3,001	100.0
山陰	2,902	2,799	96.5
岡山	1,904	1,877	98.6
中国	1,784	1,783	99.9
山口	1,822	1,710	93.9
香川	3,901	3,901	100.0
愛媛	1,497	1,400	93.5
九州	3,532	3,205	90.7
門司	760	760	100.0
長崎	2,866	2,413	84.2
熊本	2,286	2,100	91.9
医療り八	52	49	94.2
せき損	678	678	100.0
合計	75,785	72,020	95.0
平均			
500床以上	4,528	4,394	97.0
400床以上	2,817	2,634	93.5
300床以上	1,839	1,716	93.3
200床以上	874	847	96.9
200床未満	531	530	99.8